

Q. どの学部でも留学に行けますか？

A. 制度上、学部による制限はありません。カリキュラムとの両立については、事前に指導教員の先生によく相談してください。

Q. 交換留学の学内選考の倍率はどれくらいですか？

A. 倍率はお答えしかねます。

Q. 何年生でも留学に行けますか？

A. 交換留学・認定留学は最短で2年次の秋から行くことができます。休学留学は利用する留学エージェントや留学先大学のルールに従ってください。短期留学の場合は、プログラムによっては1年次の夏から参加可能です。

Q. 留学準備はどれくらい前に始めたら良いですか？

A. 交換留学の場合、学内選考が出発の約1年前に行われるため、情報収集や語学試験対策といった準備を1年半～2年程前に始めることをお勧めします。認定留学や休学留学の場合も、1年以上前には準備を始めると良いでしょう。

外国語は得意ではありません

Q. 留学に行っても大丈夫ですか？

A. 留学先大学によって語学要件が異なります。語学要件を満たしていれば自信をもってください。とはいえ、語学要件の水準にかかわらず、留学決定後も語学学習を継続することが大切です。

Q. 留学の種類や留学先がたくさんありすぎて、どれを選べばいいかわかりません。

A. まずは、なぜ留学に行きたいのかを具体的に考えてみましょう。そうすることで、目的を果たすために最適な期間や行き先が見えてきます。情報収集にあたっては、留学先大学のWebページや先輩たちの留学報告書などを活用してください。

留学 FAQ

Q. 留学経験者からお話を聞いてみたいのですが？

A. 留学報告書の閲覧の他、留学ビギナーズフェアや留学経験者(NaSIP)によるイベントといった機会を利用すれば直接お話を聞くことができます。積極的に参加してください。

Q. 留学中はどんな住居に住むのですか？

A. 留学先大学によって紹介される住居のタイプが異なります。学内・学外の寮やシェアハウス、ホームステイなどがあります。

Q. 留学が決まったら、国際センターからどんなサポートをしてもらえますか？

A. 交換留学の場合、留学前の情報提供や留学先大学への出願・やり取りなどのサポートをします。留学中については、交換留学・認定留学とも、トラブル発生時の相談対応や危機管理サービスを通じた安全管理などを行います。

Q. 留学と就職活動は両立可能ですか？

A. 留学と就職活動を両立した学生は多くいます。ただし、就職活動と留学が重なるため、日本国内にいる学生と異なる状況になります。事前にキャリア支援課などに相談し情報収集をすることをお勧めします。



南山大学留学
ガイドブック

Study Abroad

2024

X 公式 @nanzan_intl

Instagram 公式 @nanzan_intl



南山大学

【問い合わせ先】

国際センター事務局 (R棟2階(地上階)) 052-832-3123

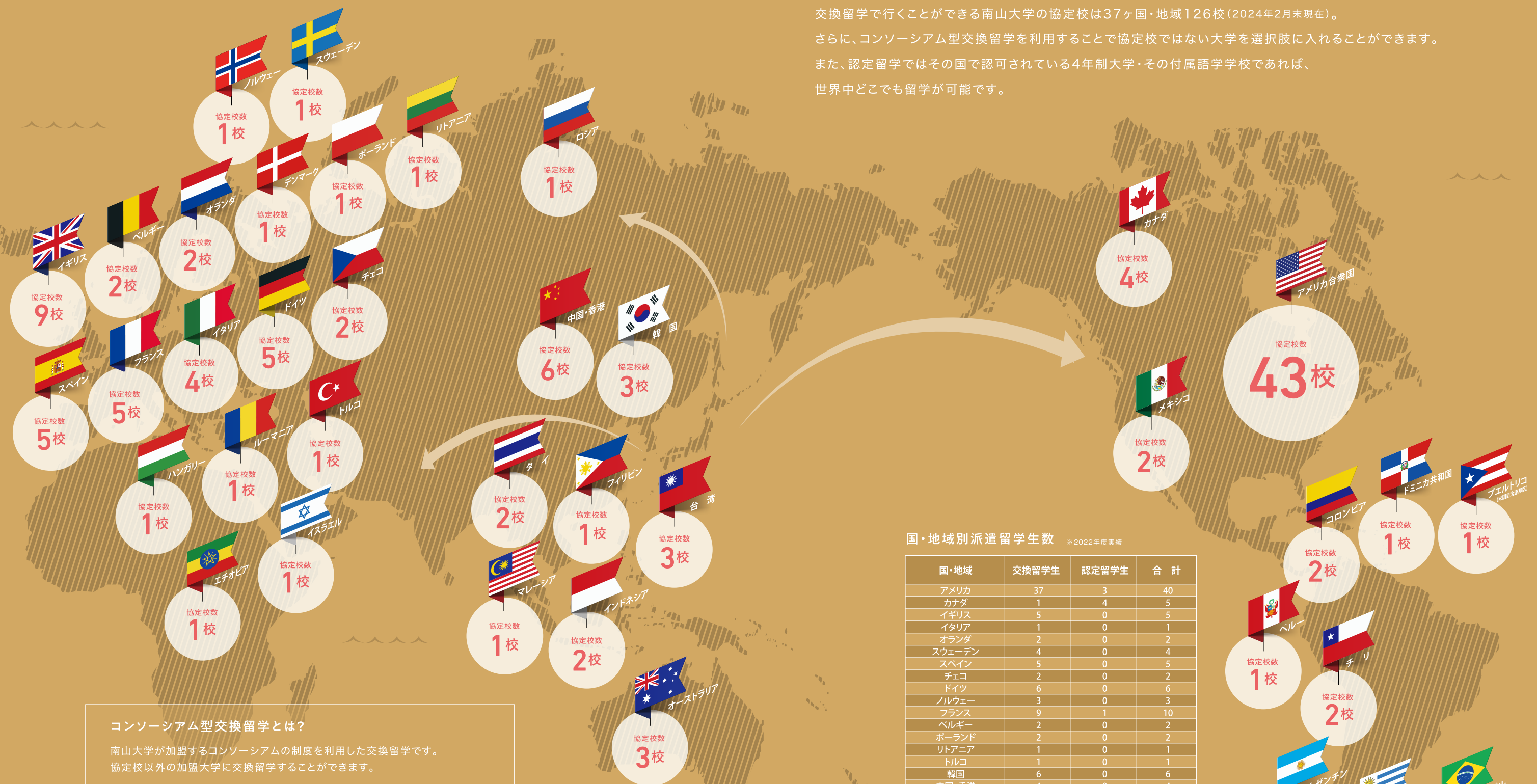
[派遣留学関連] study-abroad@nanzan-u.ac.jp

[その他国際交流全般] intl-office@nanzan-u.ac.jp



留学先は世界中に広がっています。

交換留学で行くことができる南山大学の協定校は37ヶ国・地域126校(2024年2月末現在)。
 さらに、コンソーシアム型交換留学を利用することで協定校ではない大学を選択肢に入れることができます。
 また、認定留学ではその国で認可されている4年制大学・その付属語学学校であれば、
 世界中どこでも留学が可能です。



コンソーシアム型交換留学とは？
 南山大学が加盟するコンソーシアムの制度を利用した交換留学です。
 協定校以外の加盟大学に交換留学することができます。

- ISEP** 世界51ヶ国300以上の加盟校間で学生交換留学を推進する非営利法人の全世界的なコンソーシアム
- UMAP** アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的とした約500校のコンソーシアム
- ACUCA** インド、インドネシア、韓国、香港、タイ、台湾、日本、フィリピン、ミャンマーの9つの国と地域から約60校のキリスト教系大学が加盟するコンソーシアム

南山大学の中・長期留学プログラム



交換留学

留学先大学の授業料免除で協定校へ留学

特 徴	<p>南山大学と交換協定を結んでいる大学(協定校)との間で互いの学生を交換する留学制度。年に2回募集が行われ、学内選考を通過した学生が協定校へ留学します。(コンソーシアム型交換留学を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原則、現地学生と共に留学先大学の学部で専門科目を学びます*。 ●協定校のうち各自の希望した大学の中から留学先大学が決定します。 ●留学先大学で履修した単位を認定申請し認められることで4年間での卒業も可能です。 <small>*協定校によっては語学留学を含む場合があります。</small>
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ●正式認定の時点で南山大学に1年以上在学していること(2年次の秋派遣が入学後最短) ●留学目的および留学計画が適切であること ●学業成績および人物考課が優秀であり、通算GPAが2.0以上であること ●十分な外国語の能力を有すること(留学先により条件が異なります)
学内選考	学業成績(GPA)や語学力に加え、書類審査等により選考されます。
留学費用	留学先大学の授業料は全額免除されます。(南山大学への授業料の納入のみ必要) その他、渡航費・保険料・宿舍費・食費などの費用が必要です。
期 間	1年間(2学期)または1学期



認定留学

南山大学の派遣留学生として、希望の大学へ

特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ●世界中の大学の中から自分の希望する大学を選んで留学します。 ●留学先大学への出願や留学に関連する手続きは自分で行います。 ●留学先大学で履修した単位を認定申請し認められることで4年間での卒業も可能です。
申請条件	<ul style="list-style-type: none"> ●正式認定の時点で南山大学に1年以上在学していること(2年次の秋派遣が入学後最短) ●各国で認可を受けた大学・大学院またはその付属語学学校への留学であること ●留学先大学からの入学許可書を提出できること
学内選考	学内選考はありません。条件を満たし、所定の手続きを期日内に正しく行えば留学が可能です。
留学費用	<p>留学先大学*及び南山大学への授業料はそれぞれ全額納入します。 その他、渡航費・保険料・宿舍費・食費などの費用が必要です。</p> <p><small>*参考:アメリカの公立4年制大学 2023-2024年度 1年あたりの平均授業料+各種手数料=約\$29,150 (出典:Trends in College Pricing and Student Aid 2023)</small></p>
期 間	3か月~2年間* <small>*留学期間が1年を超える場合はその期間に応じ、半年単位で卒業が延びます。</small>



南山・ディズニープログラム

特 徴	<p>アメリカのフロリダ州にあるValencia Collegeが提供する授業を履修しながら、Walt Disney World Resortでフルタイムの就業体験を行うプログラムです。春派遣(2月出発)・秋派遣(8月出発)の募集があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1年次から応募が可能です。(2年次の秋派遣が入学後最短) ●就業体験は週30~37時間程度で、就業時間分の給与(時給/\$10~15)が支給されます。 ●プログラム参加時は認定留学または休学留学の扱いとなり、希望する方を選択します。
選 考	<p>【学内選考】学業成績(GPA)、語学力(TOEIC 700点以上、TOEFL iBT 71点以上、IELTS 6.0以上のいずれかを満たすスコア)に加え、書類審査等により選考されます。</p> <p>【学外選考】語学力確認試験、Walt Disney World Resort担当者との面接により選考されます。</p>
留学費用	プログラム参加費(約50万円)、渡航費、保険料、宿舍費、食費などの費用が必要です。南山大学の授業料の取扱いは認定留学・休学留学でそれぞれ異なります。
期 間	約5か月間

*選考内容や費用については、変更となる可能性があります。

休学留学

大学を休学し、希望の留学を実現
留学先も留学期間*も自由にプランニングして
自分で手続きを進めます

*休学した期間に応じ、半年単位で卒業が延びます。

南山大学派遣留学奨学金 (交換留学および認定留学対象)

(1) 留学奨励奨学金(給付)	<交換留学>1学期あたり10万円	2022年度実績 95名
	<認定留学>1学期あたり15万円	
(2) 留学給付奨学金(給付)	一律30万円	2022年度実績 20名
(3) 留学貸与奨学金	30万円・50万円・100万円のいずれか	

短期留学プログラム



長期留学の前に海外に慣れたい…という皆さんは、まずは短期留学から始めてみませんか？「科目」として単位付与の対象になるプログラムを多く準備しています。



全学部対象 短期留学プログラム 共通教育科目>実践知形成科目:2単位

オーストラリア サザンクロス大学

オーストラリアの自然や動物保護などに関する教材を使用し、英語によるコミュニケーション能力を伸ばすプログラムです。一方的に聞くだけではないインタラクティブな授業によって、楽しく英語を学ぶことができます。ビーチでのサーフィンや動物保護区の訪問など、授業に沿った内容かつオーストラリアならではのアクティビティも充実しています。また、ホームステイ先ではオーストラリアの実際の暮らしを体験することができます。



マルタ マルタ大学

マルタ唯一の国立大学であるマルタ大学の附属語学学校で、スピーキング能力を重点的に鍛えながら英語4技能を学ぶプログラムです。文法・語彙・発音などのサブスキルも併せて向上させることができます。プログラム中は、海外からの留学生や現地の学生が暮らす大学の学生寮に滞在します。マルタならではの歴史的建造物や美しいビーチ、ショッピングセンターにもバスで気軽に出かけられます。



ニュージーランド オークランド大学

ニュージーランドの首都であるオークランドにて、日常生活や仕事の場面で役に立つ英語を学ぶプログラムです。レベル別に分けられたクラスで、スピーキング・リスニング・リーディング・ライティングをバランスよく学習しながら、コミュニケーション能力を伸ばします。ホームステイ先でフレンドリーなホストファミリーと生活することで、ニュージーランドの文化を身近に感じられるとともに、実践的な英会話の練習もできます。



アメリカ ノースジョージア大学

留学前に現地学生とオンラインで協働学習し、グループワークやプレゼンテーション準備を進めて現地研修で発表する機会があります。事前に交流してから渡航するため、約2週間という短期研修でありながら初日から学生同士の活発な交流が始まり、学びが深まることも本プログラムの魅力です。現地の学生たちとたくさん交流したい人におすすめです。都会から離れ、自然に囲まれた、ゆったりとした環境で勉強することができます。



夏期
休暇

春期
休暇

※プログラムの実施の有無や内容については、変更となる可能性があります。

学部別 短期留学プログラム 詳細は各学部事務室へお問い合わせください。

人文学部

人文学部異文化研修
短期留学プログラム
[ニュージーランド・マレーシア]



午前はレベル別に英語の「聞く・話す・読む・書く」の4技能を学び、午後は南山大生のための特別プログラムで異文化を体験します。英語運用能力だけでなく、異文化体験を通して、机上では得られない広い視野と行動力を獲得することを目指します。

経済学部

経済英語海外研修
[オーストラリア]



午前はレベル別のクラスに分かれ、英語の4技能「聞く・話す・読む・書く」を総合的に学習します。午後には、南山大生のための特別プログラムで現地学生との交流や、オーストラリアのクイーンズランド州政府・貿易投資庁(TIQ)などの見学の他、現地の環境・文化などを学ぶアクティビティに参加します。その他、放課後や週末には研修校主催のアクティビティも用意されています。

法学部

海外法文化研修
[オーストラリア・カナダ・韓国]



午前は、レベル別のクラスで英語や韓国語の勉強をします。午後には、週2・3回、裁判所や国会の見学、特別講義など南山大生向けのプログラムに参加します。韓南大学では大学の学生寮に宿泊し、他では現地でホームステイをします。マコーリー大学では現地学生との交流プログラム、カルガリー大学では自然体験の小旅行といった、各大学の個性的なプログラムもあります。

総合政策学部

政策研修プログラム(NAP)
[アジア6か国・1地域]



アジア各国・地域での3~4週間のプログラムです。研修先は、韓国(韓南大学)、中国(東華大学)、台湾(国立成功大学)、ベトナム(タンロン技術学院)、タイ(コンケン大学)、マレーシア(マレーシア科学大学)、フィリピン(アテネオ・デ・マニラ大学)で、集中語学学習(各国の言語もしくは英語)やフィールド調査学習を行います。また週末には現地でのフィールドトリップや文化体験に参加します。
※年によって不開講または変更となる国・地域があります。

外国語学部

海外フィールドワーク
[アメリカ・イギリス・オーストラリア・
スペイン・メキシコ・コロンビア・
フランス・ドイツ・台湾・インドネシア]



「海外フィールドワーク」は、すべての学科において原則必修です。それぞれの留学先に3~4週間滞在し、提携校での授業や様々なプログラムに参加、現地でのフィールドワークを行います。生活を体験することで、柔軟な異文化理解力と実践的な問題解決力を修得。交換留学・認定留学などの派遣留学と併せて、すべての学生が在学中に海外留学を経験します。

経営学部

ビジネス英語海外研修
[アメリカ]



オレゴン州のポートランド州立大学で、午前中は英語クラスを受講し、午後にはアメリカンビジネスについて学習します。キャンパスは住みやすい街として知られるポートランドのダウンタウンにあり、街中ビジネス調査から新しいビジネスプランを発表するプレゼンテーション課題もあります。現地大学の学生アシスタントとColumbia SportswearやIntel社などを訪問し、オレゴン州海岸やマルトノマ滝などの近隣観光地への旅行も楽しめます。

理工学部

理工学海外研修
[アメリカ]



午前は、理系英語で使用する語彙や発音等、コミュニケーション方法を中心に学びます。午後は、現地IT企業見学や理工系研究室訪問などの課外授業の準備として、リスニングやスピーキングの練習を行います。週末には、市街地散策やスポーツ観戦などのアクティビティに参加し、授業以外にも英語を使う機会が数多くあります。現地の理工系学生が参加者に割り当てられ、渡航前から交流を始め、研修中も支援をしてくれます。

国際教養学部

ASU Sustainability Program
[アメリカ]



留学先はアメリカで最初に「School of Sustainability」を開校したアリゾナ州立大学(ASU)。2年次第2クォーターの6週間、最先端のサステナビリティ・スタディーズを英語で学ぶのがこの留学の目的です。「卒業までに一度は海外で学びを深めよう!」をモットーとしている国際教養学部としては、長期留学予定者等を除いて、本プログラムに全員参加することを推奨しています。

学内でできる留学準備

ワールドプラザ

ワールドプラザは、自ら積極的に外国語を学びたいと思っている学生をサポートする施設です。一歩足を踏み入れれば、そこは外国語だけの世界。でも心配はいりません。ワールドプラザ・アシスタントと呼ばれる学生スタッフが優しく対応し、居心地の良い空間を演出してくれます。外国語の実践力をつけるには、言葉を実際に使うのが一番。まずは足を運んでみましょう！



ジャパンプラザ

ジャパンプラザは、外国人留学生が教室以外の場所で、日本語で定期的交流できるスペースです。日本人学生にとっては母語である日本語だけで留学生と交流できることが魅力です。また、“日本語を教える”ことの面白さや難しさも体験することができます。まずは日本語で国際交流を始めてみませんか？



多文化交流ラウンジ

多文化交流ラウンジ(愛称:Stella)は、外国人留学生を含めた南山生が自由に多文化交流できるスペースです。ラウンジでは学生スタッフ(NIA)のサポートのもと、学部・国籍などの壁を越えて交流できるほか、不定期で様々なイベントが開催されます。身近な多文化交流の場として、気軽に活用してください！



国際学生宿舎

南山大学には、留学生と共に生活を送り友情を育みながら交流できる宿舎があり、それぞれが異なる特徴を持っています。例えばヤンセン国際寮においては、国境を越えて活躍できる人材となるための教育プログラムを提供します。



留学経験者によるイベント

留学促進プロジェクト「NaSIP」の交換留学経験者メンバーが中心となり、留学関連イベントを企画・開催しています。リアルな留学体験談を聞くことで、留学に対する不安や疑問が解消されたり、今やるべきことが見えてきたりします。イベントに積極的に参加して、より充実した留学を実現してください。



留学ビギナーズフェア

外国人留学生別科生が母国や母校の様子を紹介したり、留学経験者の先輩学生が自らの体験を語ってくれます。協定校や留学先大学の情報を直接得られるとても貴重な機会です。ぜひ活用してください。

応募要領説明会

交換留学、南山・ディズニープログラム、全学部対象短期留学プログラム、認定留学への応募受付に先立ち、各派遣時期及び留学種別に対応した応募要領説明会が開催されます。応募するために参加必須のものもありますので、少しでも興味のあるプログラムがあれば、まずは応募要領説明会に参加しましょう！それが留学実現への第一歩です。

留学報告書

交換留学や認定留学を経験した先輩方は、これから留学に行こうとする皆さんのために留学報告書(中間報告書および帰国報告書)を作成してくれています。興味のある国や地域・大学に留学した先輩のものを読み、留学のイメージをより具体的なものにしてみませんか？

留学アドバイジング

学部1年生を対象に、留学の準備や留学先の選び方、語学試験の勉強方法などを留学アドバイザーの先生に個別相談できる機会を設けています(完全事前予約制)。



Language Buddy

外国人留学生別科に在籍する留学生と週に1度、1対1で30分以上日本語、30分以上英語もしくは外国人留学生別科生の母国語で交流します。双方の言語でコミュニケーションを図り、お互いに語学力を高めていきましょう！

NU-COIL

COIL(Collaborative Online International Learning)とは、オンラインで海外大学とつながり、授業内外で協働学習をおこなう教育手法です。交流はビデオ会議でリアルタイムにつながり双方で講義を行うものから、SNSを活用して非同期型のディスカッションを行うもの、小グループに分かれて課題解決型のプロジェクトに取り組むものなど様々です。時差や言語、文化の違いを超えてバーチャルに交流し、外国語運用能力に加えて、多文化共生力、学際的国際力、問題発見・解決力を養います。

学内での語学試験対策

・英語展開科目

「TOEIC」「TOEFL」「IELTS」などの語学試験対策や、翻訳・通訳等のスキルを学ぶ授業が開講されています。

・IELTS対策講座

自学自習では底上げが難しいライティング、スピーキングに重点を置き、ネイティブ講師による徹底指導のもとで集中的に学習します。

・TOEIC-IP

TOEIC-IPテストは、TOEICの「団体特別受験制度」です。

Hop, Step, and Jump to the World

段階的な学びの場を活用して、留学に向けて動き出しましょう！



段階的な学び

まずは情報収集から

応募要領説明会に参加

留学アドバイジングの利用

留学経験者(NaSIP)によるイベントに参加

留学ピギナーズフェアで情報入手



留学生とコミュニケーションしよう

国際学生宿舎で留学生との共同生活

COIL型授業(PBL COIL)の受講

ジャパンプラザで留学生の日本語学習サポート

多文化交流ラウンジで国籍・言語を超えた交流体験



外国語に慣れよう

Language Buddyと交流

ワールドプラザでバーチャル留学

国際センターの書籍やIELTS対策講座の活用

語学試験の受験



いよいよ実践へ！

外国語で実施される科目の受講

COIL型授業(アカデミックCOIL)の受講

短期留学プログラムへの参加



海外で経験を積み可能性を広げよう

中・長期留学



国際的なキャリアを形成しよう

COIL型授業(PBL COIL)の受講

NANZAN SPARKプログラムへの参加

海外インターンシップへの参加



留学までのモデルケース

留学モデルケース

交換留学

例：秋から1年間(2学期)



Aさん

憧れの交換留学！
現地の学部科目を受講できました！



留学経験者インタビュー



国際教養学部国際教養学科4年

光武 愛菜さん

交換留学先：
Arizona State University
(アメリカ)

世界をフィールドに働く父のようになりたいという夢があり、それを実現する一歩として留学を志しました。留学先ではサステナビリティの授業を中心に履修し、様々な国籍の学生とのディスカッションを通して国や文化を超えた人とのつながりが持続可能な社会の実現へのカギであることを学びました。留学中は語学の壁や文化の違いなど様々な苦労がありましたが、新しい環境でひるまず自ら積極的に行動する姿勢が、かけがえのない出会いをもたらした。また困難を乗り越える打開策を与えてくれました。その過程でいつもの自分より少し頑張る毎日が続いたことにより、行動力を磨けただけでなく、自らの新たな一面も発見し自信に繋がりました。

卒業後はメーカーに就職し、留学で学んだことを活かしながら、日本と世界をつなぐ架け橋となるよう頑張ります。

